

# 令和5年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

|     |                    |    |      |     |                       |    |    |    |         |
|-----|--------------------|----|------|-----|-----------------------|----|----|----|---------|
| 教科  | 理科                 | 科目 | 地学基礎 | 単位数 | 2                     | 学年 | 3年 | 類型 | ビジネスコース |
| 教科書 | 第一学習社 高等学校 改訂 地学基礎 |    |      | 副教材 | 第一学習社 改訂 ネオバルノート 地学基礎 |    |    |    |         |

| 学期                       | 月         | 単元名          | 指導項目、内容                      | 評価の観点                         |                 |   |   | 学習のねらい・学習の目標・評価の観点 |   |   |
|--------------------------|-----------|--------------|------------------------------|-------------------------------|-----------------|---|---|--------------------|---|---|
|                          |           |              |                              | ①                             | ②               | ③ | ④ |                    |   |   |
| 1<br>学期                  | 4         | 第1章 宇宙における地球 | 第1節 宇宙の構成                    | 1 宇宙の始まり 2 宇宙の広がり             | ◎               | ○ |   |                    | <p>学習のねらい</p> <p>1学期は宇宙の塵から地球が誕生するまでの過程を学び、他の太陽系の天体との共通点、相違点を考えます。また地球の内部の構造や成分、しくみについて学びます。</p> <p>2学期は化石を通して、地球環境の変化と生物の変遷との関係や、大気や海洋のしくみや動きについて学び、太陽のエネルギーと大気や海洋の動きとの関係、天気について学習します。</p> <p>3学期は地球の自転や公転、他の惑星の動きについて学びます。最後に自然災害への備えや災害発生時の行動について考えます。</p>   |   |
|                          |           |              | 第2節 太陽                       | 1 太陽の構造 2 太陽の組成 3 太陽の誕生と将来    |                 | ○ | ◎ |                    |   |   |
|                          |           |              | 第3節 太陽系の中の宇宙                 | 1 太陽系の構造 2 太陽系の誕生             | ◎               |   |   | ○                  |   |   |
|                          | 5         |              |                              | 3 地球型惑星①                      |                 | ○ | ◎ |                    |   |   |
|                          |           |              |                              | 4 地球型惑星② 5 木星型惑星              |                 | ○ |   | ◎                  |   |   |
|                          |           |              |                              | 6 惑星・衛星以外の天体                  | 中間考査            | ○ | ○ | ○                  |   | ○ |
|                          | 6         | 第2章 活動する地球   | 第1節 地球の姿                     | 7 生命の惑星・地球 1 地球の形と大きさの測定      |                 | ○ | ◎ |                    |   |   |
|                          |           |              |                              | 2 地球の形と大きさ 3 地球の内部構造          |                 | ◎ |   | ○                  |   |   |
|                          |           |              |                              | 4 地球の構成物質                     |                 | ◎ | ○ |                    |   |   |
|                          | 7         |              |                              | 5 プレーートの運動 6 プレーートの収束と造山運動    | ○               |   | ◎ |                    |   |   |
| 第2節 火山活動と地震              |           |              |                              | 1 火山の分布 2 火山の地形               | ○               | ◎ |   |                    |   |   |
| 期末考査                     |           |              |                              | ○                             | ○               | ○ | ○ |                    |   |   |
| 2<br>学期                  | 8         |              |                              | 3 火山の噴火と火成岩                   |                 | ◎ | ○ |                    | <p>学習の目標</p> <p>高校地学の基本的な内容（地球、地球の活動史、大気・海洋、宇宙）について、知識・理解・技能の定着を目指す。また、さまざまな演習を通して、課題に対する問題解決能力を高める</p> <p>評価の観点</p> <p>① 関心・意欲・態度</p> <p>身の回りにある自然の事物に対して興味を持ち観察し、意欲的に授業に参加しているか。</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>図表・観察・実験などの結果から、地学的な現象がどのようにして起こったか、考えられる答えを見出しているか。</p> <p>③ 観察・実験の技能</p> <p>観察・実験に積極的に取り組みレポートを分かりやすくまとめているか。</p> <p>④ 知識・理解</p> <p>学習した内容を理解し、知識を身に付けているか。</p> |   |
|                          |           |              |                              | 4 火成岩の種類 5 地震の発生するしくみ         | ◎               |   |   | ○                  |   |   |
|                          |           |              |                              | 6 地震の動き 7 地震の発生する地域           |                 |   |   | ○                  |   | ◎ |
|                          | 9         | 第3章 移り変わる地球  | 第1節 地層や岩石と地質構造               | 1 地層の形成 2 地層と堆積構造             | ○               |   | ◎ |                    |   |   |
|                          |           |              |                              | 3 堆積岩 4 地殻の変動 5 変成岩           |                 | ◎ |   | ○                  |   |   |
|                          |           |              |                              | 第2節 地球環境と生物界の変遷               | 1 化石 2 地層の対比と同定 | ○ |   | ◎                  |   |   |
|                          | 10        |              |                              | 3 地質時代とその区分                   | 中間考査            | ○ | ○ | ○                  |   | ○ |
|                          |           |              |                              | 4 先カンブリア時代① 5 先カンブリア時代②       |                 |   |   | ○                  |   | ◎ |
|                          |           |              |                              | 6 古生代① 7 古生代②                 |                 | ○ |   | ◎                  |   |   |
|                          | 11        | 第4章 大気と海洋    | 第1節 地球の熱収支                   | 1 大気圏の構成 2 大気圏の特徴 対流圏における水の変化 |                 | ○ |   | ◎                  |   |   |
| 4 太陽放射と地球放射 5 地球のエネルギー平衡 |           |              |                              |                               | ◎               |   |   | ○                  |   |   |
| 第2節 大気と海洋の運動             |           |              |                              | 1 緯度によるエネルギー収支 2 風            |                 | ○ |   | ◎                  |   |   |
| 12                       | 第5章 地球の環境 | 第1節 地球環境の科学  | 期末考査                         | ○                             | ○               | ○ | ○ |                    |   |   |
|                          |           |              | 3 大気の大循環 4 海洋の構造 5 海洋の大循環    |                               |                 | ◎ |   | ○                  |   |   |
|                          |           |              | 1 地球温暖化① 2 地球温暖化②            | ○                             | ◎               |   |   |                    |   |   |
| 1                        |           | 第2節 日本の自然環境  | 3 オゾン層の破壊 4 エルニーニョ現象とラニーニャ現象 | ◎                             | ○               |   |   |                    |   |   |
|                          |           |              | 1 自然の恩恵 2 季節の変化 3 気象災害と防災    | ◎                             |                 |   | ○ |                    |   |   |
|                          |           |              | 4 地震災害 5 地震による被害の軽減          | ◎                             |                 |   | ○ |                    |   |   |
| 3<br>学期                  | 2         |              | 学年末考査                        | ○                             | ○               | ○ | ○ |                    |   |   |
|                          |           |              | 家庭学習                         |                               |                 |   |   |                    |   |   |
|                          |           |              | 備考                           |                               |                 |   |   |                    |   |   |
| 3                        |           |              | 備考                           |                               |                 |   |   |                    |   |   |
|                          |           |              | 備考                           |                               |                 |   |   |                    |   |   |
|                          |           |              | 備考                           |                               |                 |   |   |                    |   |   |

※評価の観点 ①:関心・意欲・態度 ②:思考・判断・表現 ③:観察・実験の技能 ④:知識・理解

◆学習方法のポイント

【概要】

- 地球深部や宇宙など取り扱う範囲が大きいので、何より想像力が大切になります。読書を通して想像力を豊かにしておくことが必要です。
- 問題を解けば解くほど、自然界のしくみがはっきりと見えてきて興味が深まります。家庭での学習習慣を身に付けましょう。
- 地学は物理、化学、生物の基本的な知識を必要とする総合的な学問です。中学校で学んだ内容をきちんとおさえておくことが大切です。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1時間の授業の流れは、次のようになります。
  - ① 前回の授業の内容を小テストなどで確認します。
  - ② 課題に取り組みます。
  - ③ 課題の解法を確認して、要点を整理します。
- 覚えた語句を用いて問題を解くことが基本です。  
→教科書・ノートで確認しやすくしておくことが大切です。
- 問題を多くこなし、粘り強く取り組むことが、理解することにつながります。

【家庭学習】

- わからないことは授業時間内に解決して、理解しましょう。
- 前日に少しでも前回の復習をしておく、授業内容を理解する度合いが違ってきます。

【定期考査】

- 語句の意味、表記などを正確に覚えることが基本になります。
- 初めて見る問題でも、知識の応用で全て解けます。あきらめず粘り強く取り組む姿勢をつくりましょう。

◆評価の方法、基準

|       |   |  |  |
|-------|---|--|--|
| 評価の方法 | 定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③観察・実験の技能 ④知識・理解の4つの観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。 |  |  |
| 評価の基準 | 1<br>学<br>期   | 中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。)<br>出席状況および学習意欲(主に①の観点から評価します。)<br>ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。)<br>課題提出状況等(主に②の観点から評価します。) |  |
|       | 2<br>学<br>期   | 中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。)<br>出席状況および学習意欲(主に①の観点から評価します。)<br>ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。)<br>課題提出状況等(主に②の観点から評価します。) |  |
|       | 3<br>学<br>期   | 学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。)<br>出席状況および学習意欲(主に①の観点から評価します。)<br>ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。)<br>課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)     |  |
|       | 学<br>年  | 1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均  |  |